

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年11月3日公開
アレッポの近況、背教について

エルサレムより、シャローム！今回はうまく繋がることを願いつつ。ここに帰ってきて、またライブでメッセージ配信できることをとてもうれしく思います。世界中で、中東で、イスラエルで、様々なことが起こっています。それから、Behold Israel の活動報告もしたいと思っています。

その前に、私が日焼けしているわけをお話しします。約10日間にわたるイスラエル各地での撮影が終わりました。8か所の現場で、それぞれ一時間程度のバイブルスタディを行いました。主は至るところで栄光を現わしてくださり、実に祝福された時間でした。私と一緒にいた人たちは、まだ残っている方もいますが、ほとんどがアメリカに帰国されました。皆さんがこのプロジェクトのためにお祈りくださっていたことを感謝します。撮影は大成功で、これから編集に入り、来年の3月には“Israel Unveiled 2”が出版される予定です。それから、最大のニュースは、E-mailでの配信が始まり、You Tube や Facebook をご覧になれない多くの方にもお届けできるようになりました。私たちの Facebook ページ “Behold Israel” もしくは “Amir Tsarfati” にサインアップのボタンがあるので、そこで登録していただくか、info@beholdisrael.org まで、お名前と E-mail アドレスをお送りください。祝福になると思います。ご登録お待ちしております。

では本題に入りましょう。まずは中東情勢です。

数時間前に、リビア沿岸でとても悲惨な事件が起こりました。難民を乗せた2隻のボートが沈没し、240人が死亡、遺体の捜索は継続中です。これによって、リビアから北アフリカを経由して、イタリア、ヨーロッパに上陸しようとして死亡した人の数は4,000人を超えました。どうか、これらの人々とそのご家族のために、覚えてお祈りください。

次に、前回アレッポについてお伝えしてからしばらく経ちますが、メディアの情報操作によって、世界中の注目はモスルやイラクに移されました。メディアの報道では、「作戦は成功しており、すべて首尾よく事が運んでいる」と伝えられていますが、私がこれまでに何度もお伝えしている通り、何一つとしてうまくいっていません。しかし、様々なことが起こる中で、シリア最大都市のアレッポ（ダマスカスよりも大きいです）では、ここ10日ほど、プーチン大統領が激しい攻撃をストップしています。これは私の見解ですが、西側の制裁措置の効果か、もしくは再結成して、空母最高司令官を到着させる目的だったのかと思われます。それが現在、ついに到着しました。恐らく、準備が整い次第、ロシアはまたアレッポへの攻撃を再開させるでしょう。しかし、その間～ロシアがシーア派の援護を止めている間～にも、スンニ派がすさまじい反撃に出ており、それもここ二日間は酷いもの

でした。ですから、アレッポはシーア派やロシアが攻撃していた時とは比較にならないほどの状態になっており、そのことで、プーチンは非常に苛立っています。

トルコはこれらのことで非常に重大な役割を担っており、2か月前にお伝えした通り、彼らはシリアに侵入し、自分たちの戦車や兵士を送り込んだだけでなく、シリア北部の反政府軍を武装させ、そこにスンニ派反政府軍の安全地帯を造りました。そこには、彼らがいつでも戻ってきて、軍隊を再編成し、新しい武器を得て、アサドとその支持者に継続して反撃できるようになっているのです。またトルコは、現在イラクで進行している事に対して非常に気を揉んでいます。イラン代理に援護されているシーア派のイラク兵部隊が、一大スンニ派都市モスルに向かって移動中です。これがトルコの怒りを買いました。これに対してイラク政府は、トルコがどんどん侵攻を深入りさせていることについて、宣戦布告行為であると警告しました。エルドアン大統領は、シリア北部の反政府軍が、イラクに武器を運ぶことを期待して、彼らを武装させ、さらにイラク北部にも同様の安全地帯を設け、反政府軍を再編成させ、休憩させ、武装できるようにしています。そうすることによって、クルド人がイラク北部からシリア北部へと拡大することを阻止しているわけです。なぜなら、トルコにとっては、クルドがすべての問題で、シーア派イスラムがこれ以上拡大しないようにするのが狙いなのです。ということで、これまでもお伝えしてきたように、シリアとイラクで進行中の戦闘はすべて「トルコ対クルド」「シーア派對スンニ派」によるものです。そして、そこにアメリカとロシアが、間違っただけの相手を援護することで状況を悪化させているのです。

アメリカは急速に影響力を失いつつあります。イランはそれにつけ込んで、血の臭いを嗅ぎつけて、放言し「アメリカ国土に攻め込む」とまで息巻いています。数日前、イラン革命防衛隊は「我々はアメリカの深部に侵入してなんでもやりたい放題のことができる」との声明を発表しました。彼らは弱みを握り、アメリカからの厳しい叱責や反撃を一切受けることなく、何でも自由にできるということを理解しています。これはアメリカ国民にとっては、やっかいな問題です。

もう一つお伝えしておきたいことは、今のアメリカの不安定さが、この選挙期間中に、少しでも多くの領土を手に入れようとしている全ての関係者を突き動かしています。次期大統領が誰なのかは神だけがご存知です。ワシントンの不安定さが全世界に広がり、中東にまで波及しているのです。私はアメリカ大統領選については、できるだけ話さないようにしています。いろいろ知ってはいるのですが、私が言及すべきではないと思います。ただ一つ言えることは、ものすごい数の支持者が反対側（共和党側）へ移っていくのを見て、民主党側に非常なプレッシャーとストレス、いら立ちが募っています。調査では、接戦か、トランプが1%だけリードしているなどと発表されていますが、それは間違いです。実際に

はトランプ支持者がはるかに多いのです。彼らに出来るのは、選挙を不正に中止することか、もしくは大統領が何らかの形で選挙を中止するかです。私に言えるのは、残り一週間を切り、日々FBI や他のところから様々な事が浮上しており、毎日何千通という E-mail が暴露され、架空の話だとする余地もないほどです。もし FBI や政府情報機関が動かなければ、人々が動くでしょう。時が来ればわかることです。

しかし、これは教会にとっては大きなチャンスだと私は思います。その理由は、もしヒラリー・クリントンが勝てば、彼女を支持しなかった福音派クリスチャンは仕返しを受けるでしょう。そして、リベラル派が福音派を追い詰めるのは明らかで、アメリカで教会への迫害が起こるでしょう。しかし、教会への迫害は悪いことばかりではありません。苦しみたくない人にとっては悪いことですが。良い面は、教会は通常、迫害を通して健全な成長を遂げていくものです。中東では経験していることですが、アメリカでもそうになっていくかもしれません。ですから私は、トランプかヒラリーかということはアメリカの教会の状態を思うほどには、心配していません。これについて、少し時間をかけてご説明しましょう。

聖書の中で語られている終わりの時は「誰がホワイトハウスに居座るか」ということではなく、「教会の携挙の前に、背教と欺きが起こる」ということです。そして今、私が目になっているのは、これまでになかった規模の、信じられないような偽神学がインターネット上に出回っていることです。一つ、私の目を引いたのは、多くの人から私のところに、「マタイ 24 章」「マルコ 13 章」「ルカ 21 章」に書かれていることについての問い合わせが来て、その全てが「これは AD70 年に全て成就したという教えをどう思いますか？」というものでした。これは基本的には「マタイ 24 章の解き明かし」と呼ばれるもので、「全てが終わったことだ」「天国もなければ地獄もない。携挙もなく、全ての人救われている」と言っています。私はこの教えをインターネットで見ましたが、人々がこんな異端の偽神学を信じていることにゾッとします。なぜなら、聖書の中には何千何万回と天国や携挙、地獄について語られていて、残念なことに全ての人救われるのではないということも書かれています。私たちが知っていることは、「神は全ての人救われることを願っておられ、誰のこともあらかじめ地獄に行くようには定めておられない」ということです。しかし、私たちも知っての通り、全知の主は、「残念ながら、全ての者がそうではないこと、全ての者が備えるのではないこと」もご存じです。そして、これこそが惨事ですよ。

ある人が、別の人に向かって「なあ、もう救われているんだよ」「携挙なんてものはないさ」「地獄なんてのは、全然存在しないんだよ」「全てはすでに達成されて、永遠の勝利がもたらされたんだ」「だから、全人類は救われたんだ」なんてことを言ってしまうと、人は準備をしなくなるのです。それこそが地獄の底から出てきた教えに他なりません。マタイ 24 章

に書かれているそれぞれの責任を、私自身も思い起こす必要があります。終わりの時に私たちに課せられているのは、備えをするようにという命令であることは明らかです。

42 **だから、目をさましていなさい。あなたがたは、自分の主がいつ来られるか、知らないからです。**

43 **しかし、このことは知っておきなさい。家の主人は、どろぼうが夜の何時に来ると知っていたら、目を見張っていたでしょうし、また、おめおめと自分の家に押し入れはしなかったでしょう。**

44 **だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。(マタイ 24:42~44)**

このように、主が言っておられるのは、季節ではなく時間です。私たちは覚えておかなくてはなりません。36~37 節にはこうあります。

36 **ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。**

37 **人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようだからです。(マタイ 24:36~37)**

つまり私たちは、時期や季節を知ることはできますが、時がいつかは誰にもわからないので、目を覚まして準備していなければならないのです。そして、主が最後に言われているのは 46 節

46 **主人が帰って来たときに、そのようにしているのを見られるしもべは幸いです。**

(マタイ 24:46)

これらのみことばから導き出される、私たちがすべきことは

- ① 目をさましていること
- ② 備えをしていること
- ③ 主に仕えていることを見てもらうこと、

です。それ以外の何でもありません。トランプやヒラリーの問題でもなく、誰がホワイトハウスに入るかは問題ではないのです。もちろん、時や季節を知るための、素晴らしい預言はたくさんあります。それでも、私たちは上記①~③を心構えしておかなければならないのです。

ですから、もし、すべてが AD70 年に成就していたとしたら、

何のためにイスラエルはあの地に戻ったのですか？

神はそれについて何の目的も持っておられなかったのですか？

エルサレムが、私たちイスラエル人の手に戻ってきたことに関してはどうですか？
世界中がエルサレムを滅ぼそうと立ち上がっているのは、どういう事でしょうか？
何のためにエルサレムを私たちイスラエル人から取り上げようとしているのですか？

ところで、これらのことでもいつも私が思うのは「神様はユーモアのセンスがある」ということです。世界で最も古い聖書・死海文書の発見者クムランは、クリスチャンでもユダヤ人でも福音派でも伝統派でもカトリックでもない、ムスリムだったのです。イスラム教徒で、ベドウィン（遊牧民族）の羊飼いが、最古の旧約聖書を見つけたのです！面白いじゃないですか！

もう一つすごいのは、ユネスコが何とかしてユダヤ人とエルサレム、神殿の丘との関わりを完全に否定しようとしていた同じ週に、私たちは二つの大発見をしたのです。1つめはBC7世紀のパピルス紙です。イスラムの考えにも及ばないほどの、ずっと昔です！このパピルス紙は、エルサレムに住んでいたイスラエル人に配達された、ワインの請求書です。すごくないですか？「それは、『エルサレム』でしょ？神殿の丘のことじゃないじゃない！」そうですか、足りませんか？ではこれはどうですか？もう一つは、まさに2、3日前に発表されたばかりの事です。ヘブロン近郊のヌバという町の古代モスクの発掘で—モスクです—、床にあった古文書が発掘されました。そこに書かれていたのは、「岩のドーム（現在の金のドーム）のある場所は、もともと Beit HaMikdash（ヘブル語で Bayt al Muqaddas）ユダヤ人の神殿が建てられていて、『神殿の家』という意味だ」面白いことに、イスラム自身が、あのドームはイスラエルの神殿があった所に建てた、と認めているのです。ここ数週間のうちに、私が発見したのは、岩のドームに保管されている宗教の書物に記されているのが、「イスラムのエルサレムでの最初の局面（イスラムがエルサレムに来て最初の年）に、ユダヤ教の儀式を模倣した」ということです。これらの礼拝儀式の中で人々が執り行っていたのは、「体を清め」「衣を着替え」「香を焚き」「石に油を注ぎ」「基石の周りに幕を引く」ということでした。これは、ムスリムたちが岩のドームをユダヤ神殿の継承として見なしていたことを意味します。つまり、「ユダヤ人が神殿で行ってきたことを、我々もするのだ」と言っているのです。驚きじゃないですか？

神は御言葉の中でこう言われます。

11 まことは地から生えいで（詩篇 85:11）

ですから私はいつも言っています。

「好きなだけ真実を抑え込めば良い」「好きなだけ押しのければ良い」「これは真実ではない」と言いたいのなら、言えば良いのです。しかし、神の御言葉は真実で、全てのものが

消え失せても、神の御言葉だけは残るのです。私には、「全てが AD70 年にすでに成就した」などという偽神学が理解できません。すべてが将来について書かれているのにです。ユダヤ人はあの地に戻らなければならず、イエスは「いちじくの木が再び芽吹かなければならない」ことを説かれました（マタイ 24:32、マルコ 13:28、ルカ 21:29~30）また、ホセア書 9:10 によると、イスラエルはいちじくの木に例えられています。

10 …いちじくの木の新なりの実のように見えていた。…（ホセア書 9:10）

ですから、ユダヤ人がイスラエルに帰還したことは、預言的にもものすごい節目だったので。基本的に起こるべき他の全てのことについても書かれています。

それから、いろいろな人が私のところに来てイエスの次のことばについてはどうなのかと質問してきます。

30 …これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。

（マルコ 13:30）

これは興味深い質問ですね。まず、私は専門家ではありませんが、私に言えることは、「時代」とは 40 年間の意味ではありません。通常、「時代」とは人の生涯の長さを言い、歴史の中で最初の頃は、人は 900 年ぐらい生きていました（創世記 5:5~31 を参照）。現在は大雑把に見て、平均寿命は 70~80 歳くらいでしょうか。ですから、1948 年以来、今はちょうどその期間に当たると言える、と思います。と言っても、私はその日その時がわかると言っているわけではありません。ただ、時代で言えば、80 年くらいじゃないかということです。詩篇でも 80 という数字が出てきます（詩篇 90:10 参照）。私にははっきりとはわかりませんが、ただ、皆さんにも知っておいてもらいたかったのです。

それから、もう一つ、皆さんにお伝えしておきたいのは「続けて祈る」ことです。アメリカ在住の皆さんには、選挙に行くようにと伝えます。まだ終わったわけではありませんから。これは誰にとっても惨事ではなく、ただ行って、投票して、正しいことをするまでです。候補者個人に投票するのではなく、生まれるべき命のために、最高裁のために、家族の価値のために、イスラエルのために、アメリカのために投票しましょう。これらは聖書的な価値観で、数日後に投票する際の目安になるでしょう。その他の方には、ヨーロッパが反キリストの登場に向けて準備が整っていることについてのメッセージを You Tube にアップロードしていますので、ぜひご覧ください（日本語字幕付きが DIVINE US の You Tube チャンネルから見られます。「『ヨーロッパ』反キリストの到来のための備えが整いつつあ

る』)。バチカンについて、政治的指導者がどのようにして西ヨーロッパから登場するのかについてお話しています。エゼキエル戦争（エゼキエル 38~39）の後、平和をもたらす者がそれで、確かにヨーロッパは準備ができています。Jan Markell の Olive Tree Ministries もしくは私の Facebook を検索してください。

しかし、サタンが人々に何かしようとするときに、神は必ず残りの者を備えておられます。ちょうど昨日、カルメル山で収録したメッセージは、「エリヤと、神が取り分けておいてくださった、バアルに膝を屈めなかった人々」の話でした。私がすごく勇気づけられているのは、最近イギリスだけでなく、クロアチア、ドイツ、ノルウェー、フランス、その他の国々から招待を受けています。どうしてこんなにうれしいのかというと、終わりの時が近づけば近づくほど、ヨーロッパの暗闇が増せば増すほど、クリスチャンはもっと活動的になり、神の御言葉に対して飢え渴くからです。そして、ヨーロッパでは以前よりも多くの人が話を聞きたがっているのです。反キリストの支配によって、完全に盲目にされ、完全な欺きが行われる直前に、たとえわずかな期間でもヨーロッパに伝える機会があるのなら、できる限り伝えていきたいのです。それは、在住ヨーロッパ人に限らず、移民でも、誰もが皆、真実を聞かなければなりません。ですから、私はとてもワクワクしていて、何とかしてこれらの国々を回りたいと思っています。そして、週末だけでも、伝えられる限り福音を伝えていきたいと思っています。以上がお伝えしたかったことでした。どうか、神が完全に支配されているということを忘れないでください。

私たちは世界中で起こっていることを目の当たりにしながら、とてもワクワクしています。それから、お願いですから、とんでもなく滅茶苦茶な偽神学について行かないようにしてください。どうか御言葉に留まってください。それから、神のみことばは一人二人の解釈ではなく、全体を見て解釈しなければなりません。また、旧約聖書、新約聖書の両方と、現実を見なくてはなりません。周りを見渡してください。神は私たちに脳みそを与えてくださり、目も口も与えてくださいました。だから、私たちは世界で起こっていることを見て、神の御言葉が語っていることを読んで、そしてこれらのことを世に伝えていかなければならないのです。

それから、大切な友であり、キリストにある兄弟・マニー・パッキャオ兄（Manny Pacquiao : フィリピンのプロボクサー、元世界王者）へ。プロボクサーとして最後となるであろう、数日後にラスベガスで行われる試合での大勝利を祈ります。彼がラスベガスで試合をするときはいつも、ただ闘いに行くのではなく、毎回聖書勉強会を開き、何百人もの人がそれに参加しています。私もそこで教える機会を3回もいただくことができました。彼の頭の中にあるのは、福音と、主イエスを宣べ伝えること、未だ救われていない人々の目を福音に向けて、主の御前に立ち返らせることだけです。ですから、大勝利とご健闘を祈り続け

ます。彼には大きな影響力があり、政治家の経歴もあるので、国中の一億人が彼を尊敬しています。

アメリカの人々にとっては、これからすさまじい週が始まります。投票に行くだけでなく、どうか前向きになってください。教会は悲劇と迫害を通して強くなることを忘れずに。現在進行中の全てのことを通して、キリストの御名が栄光を受け、褒め称えられるように祈りましょう。

私は今、エルサレムにいます。エルサレムは静かで美しく、とても穏やかです。しかし、時が来ればそうではなくなるということもわかっています。その時には、私たちはここにはいませんが、それまでにぜひ、ここを訪れてください。神が私たちイスラエルにしてください。人生が根本から変わりますよ。皆さんには、ただ観光でくるのではなく、嫌イスラエルや、聖書について嘘を教えられ、世の中のとんでもない欺きを教えられている若者や大学生がここに来られるようにお祈りください。もし、あなたが来ることができなければ、こういった若者世代がここに来られるように援助することも思案してみてください。そうすれば、彼らが神の御言葉に根ざし、目が開かれて、世の中で実際何が起きているのかを知ることで、家に帰るころには信仰が増し加わるのです。そして、信仰が強くされるだけでなく、大学や学校でパワフルに関わっていくようになります。そのことについてもお祈りください。

また、アメリカのためにお祈りください。まだ終わったわけではありません。これから素晴らしいことが待っているのですから。ただ、皆さんに言っておきたいのは、今週はひどい週になるでしょう。めちゃくちゃです。悪いことが両方からどんどん浮上してくるでしょうし、とにかく、やるべきことに集中しましょう。これはサタンがあなたを然るべき仕事から目を逸らそうとしているのです。ですから、ただ聖書にかなった計画と公約とに目を向けて、投票しましょう。これからはテレビを観る時間を減らして、その分ひざまずいて祈りましょう。その方がずっと正しいことができますから。

ということで、全てが神のご計画通り、あるべき方向に向かっているということを思い出してください。すべては神が支配しておられ、私たちの希望はこの世のものではないのです。そして、私たちの祝福された希望である主イエス・キリストが迎えに来られる時が迫っています。ですから、周りを見回し、目を天に向け、頭を上げましょう。私たちの贖いは確実に近づいています。

エルサレムより、偉大なる王の都、神がその御名を置くと言われた町、神がダビデとイスラエルの民に約束された町より、皆さんにたくさんの愛を送ります。皆さんのお一人おひ

とりと繋がりたいので、どうか今日、E-mail 登録をよろしくお願いします。本日一回目のメールが送信されました。多くの方が祝福されますように。また、You Tube をチャンネル登録してください。これから、イスラエルの現場で今年 2 月に収録した 20 分程度のバイブルスタディ番組を、週一回ずつアップデートしていきます。あなたがイスラエルに来られないのなら、私たちがイスラエルをあなたにお届けします。これが私の願いです。人々が神の御言葉、神の地、神の民によって祝福されますように。イスラエルに来られない人もこれらを通して、ご自宅でイスラエルを見ることができますように。それは私にとって大きな祝福です。これらの現場を見て、聖書をより深く理解し、これらの場所の背後に隠された大きなメッセージを読み取ることができますように。

エルサレムより、I love you! Shalom!

エルサレムの平和のために引き続きお祈りください。こちらでも皆さんの国のために祈っています。どんどんご連絡ください。明日の朝、ほぼ一か月ぶりに自宅に帰ります。明日の夕方は家族と安息日を祝い、良い時間を過ごす予定です。何よりもうれしいのは、長男アリエルがバプテスマを受けることになって、ずっと祈ってきたことだったのですが、神様が息子の心に働きかけてくださいました。それから、ハイファの自分の教会で聖書預言メッセージを伝えます。家族と過ごすこれからの 2 週間をととても楽しみにしています。ありがとうございます。I LOVE YOU ALL! GOD BLESS YOU! SHALOM!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO